

編集 後記

2024年1月より編集委員を務めさせていただいております北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学講座 予防歯科学教室の岩崎正則と申します。どうぞよろしくお願いたします。

さて、本号には原著2編、資料2編が掲載されています。杉浦らの論文では、介護老人保健施設で働く高年齢介護助手を対象とした調査から個人特性や就労状況による従事する業務内容の特徴の違い、また従事する業務内容による就労することによって感じるメリットの違いについてが報告されています。中尾らの論文では、「一人であることをポジティブな経験として、意識的・自発的に決定すること」を測定する日本語版 Positive Solitude 尺度 (Japanese version of Positive Solitude Scale : JPSS) の信頼性・妥当性が報告されています。杉本らの論文では、WEB 質問票調査の結果をもとに「日本人の食事摂取基準」が食・栄養関連業務に従事する者においてどのように使われているかが報告されています。そして早瀬らの論文では、地域における減塩食品の入手可能性を評価する手法として、調査マニュアルと3種類の記録シートを用いた標準的な手法の有用性について報告されています。

編集委員として本誌に投稿いただいた研究者・実務家の方々にできる限りのサポートができるように、日々勉強しています。本誌の内容がさらに充実していくよう皆さまからの活発な投稿を引き続きお待ちしております。

(岩崎正則)

次号予告 (第71巻・第8号)

総 説

医療的ケア児やその家族に対する専門職間の協働の実践：スコーピングレビュー……柴野裕子，他

公衆衛生活動報告

保健所の特定給食施設指導を活用した勤労者の減塩の試み：埼玉県川越市内事業所での事例
……佐藤麻記子，他

資 料

通いの場の取組をPDCAサイクルに沿って推進・評価するためのフレームワーク：ACT-RECIPE……清野 諭，他
お薬手帳と比較した自記式質問紙による服薬情報の妥当性研究……矢嶋里菜，他